おかのうえ D.I.O TABLE

できるだけ　いろんな人と　おしゃべり

レポート　vol.06

開催概要

日時：　令和８年７月５日（日）10:00～12:30

場所：　平山台健康・市民支援センター １階エントランス

主催：　日野市

協力：　studio - L







第６回「おかのうえ D.I.O TABLE」が開催され、12名の市民のみなさんが参加されました。第６回では前回のふりかえりのあと、視察先の説明があり、１つ目のワークでは視察先で見てみたいことや聞いてみたいことをテーブルごとに話し合いました。２つ目のワークでは秋のお試しでどんなことをやってみたいか意見を出し合った後、各テーブルをみんなで見て回り、「関わってみたい！」、「面白そう！」と思う取り組みにそれぞれシールを貼りました。このレポートでは当日話し合った内容や様子をお伝えします。

プログラム

- はじめに
- 前回のふりかえり
- 話し合いの前のエクササイズ
- 視察先の説明
- テーブルトーク①「視察先で見たいこと、聞いてみたいことを考えよう」
- 秋のお試しについて
- テーブルトーク②「どんなお試しをするか考えよう」
- 共有
- 今後に向けて

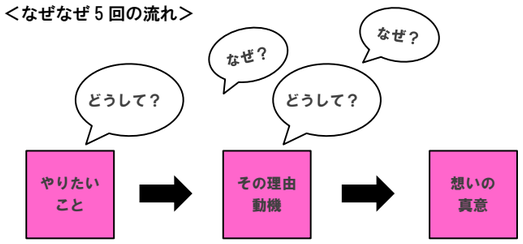
話し合いの前のエクササイズ

テーブルトーク前のエクササイズとして、話し合いのゲームを実施しました。

ゲームで実践　「なぜなぜ５回」

今回の話し合いでは「どうして？」と疑問を持つことが大事になってきます。「なぜ？」、「どうして？」と対話のなかで繰り返し深堀りしていくことで、その想いにいたる動機や真意を知ることができます。

＜なぜなぜ５回の流れ＞



視察先について

前回ワークで「行ってみたい！」と全テーブルから意見が挙がったことや、地域に対するあり方や影響、運営方法を知りたいなどの意見が多かったことから、今回の視察先は「萩山公園」に決まりました。視察では、センターの所在が八王子市との市境を跨いでいるため萩山公園以上に複雑な法規制がある点も念頭に置く必要があります。

萩山公園について

園内には大きな広場や防災設備などがあり、屋内施設として、様々な機能がコンパクトに詰まった地域交流施設「はぎま」があります。以下、園内の使われ方や主な取り組みになります。



地域交流施設「はぎま」



園内にある防災設備を体験できるイベント「防災フェスタ」





「はぎま」では地域の交流拠点としてワークショップなどを実施。定期的に地域交流イベント「はぎやまマルシェ」も開催している



地域住民とともにコミュニティガーデンを管理している

テーブルトーク①「視察先で見たいこと・聞いてみたいことを考えよう」

テーブルトーク①では、視察先で見たいことや聞きたいことを話し合いました。視察を通してセンター跡地に活かせそうなアイデアや描いた将来像の実現につなげるヒントを学びに行きます。

なにを聞く？

※（ ）内の数字は意見の数

公園や施設がオープンするまでの過程	・公園の計画の始まりや施設設備の選定プロセスについて（５） ・改修費用の内訳（２） ・PARK-PFIを導入した経緯（２） ・用地取得について ・建物の法令上の取り扱い
行政との関わり	・行政の関与状況
利用者について	・実際の利用状況（年齢層、利用目的、属性など）（７） ・リピーターについて（属性や頻度） ・季節ごとの利用について（1年を通じての利用者や利用方法の変化など）
施設の運営方法	・利用料などの収支構造（５） ・施設やイベントの告知方法（SNSなど）（２） ・持続的な経営のための工夫 ・構成企業と地元住民のコミュニケーションの程度 ・窓口を担う事務局について
地域交流施設「はぎま」	・施設管理や運営スタッフについて（常駐スタッフやボランティアの割合など）（３） ・イベントについて（運営、スケジュールの決め方、市民活動の関わりなど）（３） ・施設のスペース利用（制限や利用料など）（３） ・施設の利用システムや申し込み方法（２） ・施設の夜間利用（２） ・備品や倉庫について（イベント備品や市民活動に使える倉庫の有無）（２） ・カフェ機能について（運営、一般利用について）（２）
公園（屋外）	・夜間の公園の様子（外灯はあるのかなど） ・夜間の利用について（防災訓練で宿泊など可能か） ・公園ならではの利用について ・ざわざわ森の使われ方 ・火の利用について（炊き出し） ・犬と一緒に利用できる場所があるか
コミュニティガーデン	・コミュニティガーデンでの収穫の様子や採れた野菜の活用方法について（２） ・コミュニティガーデンは誰がどのように利用しているのか ・活動や管理の費用について ・倉庫について（畑作業の道具を置ける倉庫などの有無）
防災機能	・実際に避難（宿泊）できるのか ・防災機能の管理について ・防災倉庫の有無
周辺地域の環境	・周辺地域の居住性、駅への距離、周辺の公共施設、周辺の立地環境など ・周辺地域との連携 ・地域住民にとって萩山公園がどのような場所になっているか

なにを見る？

※（ ）内の数字は意見の数

利用者について	・利用者の年齢層
公園・施設	・施設の清掃管理（２） ・夏場に日差しを避けられる屋根のあるスペースなどあるか
コミュニティガーデン	・コミュニティガーデンの広さ、利用のされ方
防災機能	・防災機能（マンホールトイレ、防災パーゴラ、かまどベンチなど）

秋のお試し実施について

視察は他地域の事例を学ぶことで方向性案の内容を検証します。加えて、今年度はもうひとつ、お試しの実施を通してセンターの活用アイデアや取り組みのニーズ、必要な空間の規模や設備、運営への関わり方などを検証します。また、検証だけでなく、今後の平山地域を豊かにする取り組みをはじめるきっかけでもあります。

実施日時　11 月 1 日（日）雨天決行 荒天中止
※前日準備：10 月 31 日（土）屋内のみ

テーマ　「センターで活用アイデアを試して検証しよう」

会場　平山台健康・市民支援センター
グラウンド、1 階エントランス、会議室 1 部屋
（センターを拠点としつつ、近隣空間も要相談）

時間　ワークショップの話し合いをもとに検討





テーブルトーク②「どんなお試しをするか考えよう」

テーブルトーク②では、秋のお試し実施でどんなことをしたいかアイデアを考え、「なぜそれをやりたいのか」、「その取り組みが何の検証につながるのか」意識しながら意見を出し合いました。最後に各テーブルで話し合った内容を全体に共有し、今後のワークショップで「一緒に考えてみたい」、「参加してみたい、面白そう！」と思うアイデアにシールを貼りました。下の表に、話し合いの結果をまとめています。

カテゴリー	取り組み内容	お試しのねらい・目的	関連する 5 つの要素	私も考えたい度シールの数	面白そう度シールの数
多世代が集まりつながる場づくり	平山学園祭 ├ ドッグラン ├ 体育館の中で e-sports やドローンあそび ├ 平山のど自慢（屋外カラオケ大会） ├ グラウンドを活かした屋外活動 （焼き芋大会/火起こし体験/All Night 焚火会/テント泊/林の中から木を拾う/鳥の巣箱づくり） ├ 芋ほり体験 ├ プールを活用した釣り堀 └ 城址公園散歩	・様々な活動を知る機会として、地域に活動を散りばめたい ・多様な人の興味を引くフックにしたい ・チャレンジの場 ・中高生が訪れるしかけをつくりたい ・若い人から高齢者までたのしめる場にしたい ・子どもたちに色んな体験をしてもらいたい ・センターにあるものを活用（畑、プールなど）	①集まる/②支え合う・備える/③遊ぶ・愉しむ/④（愉しみを）ひろめる/⑤学ぶ・育てる	☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆	☆ ☆ ☆☆☆☆☆☆ ☆ ☆☆☆☆☆ ☆
食を通じた交流	芋煮会（炊き出し）	・参加者同士の交流が生まれる場にしたい ・災害時の訓練になる ・センターを多世代に知ってもらい、地域の人が集まるきっかけにしたい ・センターに来ると、人とつながってたのしいと体感してもらいたい ・また来たい、会いたいと感じてもらい、外出の機会をつくりたい	①集まる/③遊ぶ・愉しむ/④（愉しみを）ひろめる	☆☆	☆☆☆☆
	みんなでご飯をつくり、みんなで食べる（もちつきなど）	・参加者同士の交流が生まれる場にしたい ・防災の練習になる	①集まる	☆	☆
	地元野菜マルシェ	・出店したい人がいるか検証するため ・ニーズがあるか検証するため	②支え合う・備える	☆☆	☆
	農作物マーケット（フリマ、焼き芋、落ち葉アート、キッチンカー）	・農作物の作り手とつながる機会にしたい ・センターを多世代に知ってもらい、地域の人が集まるきっかけにしたい ・センターに来ると、人とつながってたのしいと体感してもらいたい ・また来たい、会いたいと感じてもらい、外出の機会をつくりたい	①集まる/③遊ぶ・愉しむ/④（愉しみを）ひろめる	☆☆	☆
	〇〇フェス（さつまいも・ビール）			☆	☆☆☆
	ビアフェス（平山の住民がたのしめる場）	・夜の時間帯の利用を試したい	③遊ぶ・愉しむ		☆☆☆☆
	1 日限定カフェ（休憩所）	・平山城址公園を訪れる人が立ち寄る場や休憩できる場をつくりたい ・カフェを使用する人がいるか、どんな人が訪れるかを知りたい ・今までセンターを訪れたことがない人に存在を知ってもらいたい ・行政区域にとらわれず、市境のセンター周辺の人にも来てほしい	①集まる		
愉しみの共有	センターや地域に今ある活動の紹介＆体験	・仲間を増やしたい ・センターで活動をしている人同士の横のつながりをつくりたい	①集まる/③遊ぶ・愉しむ/④（愉しみを）ひろめる	☆	☆
	平山の自然を学ぶポスター展示	・平山の豊かな自然を紹介したい	③遊ぶ・愉しむ	☆	☆
	自分の好きなことを紹介する展示ボックス	・得意なことや好きなことから、新たな一面を知ることができる ・好きなものを通して交流をしたい	①集まる/③遊ぶ・愉しむ/④（愉しみを）ひろめる	☆☆	☆
事業や取り組みの周知、ニーズ調査	You は何しに平山へ？（突撃インタビュー）	・センターに本当に必要なものは何か、何があれば来たくなるのかを調査をしたい	①集まる/③遊ぶ・愉しむ/④（愉しみを）ひろめる		☆☆
	情報発信（SNS、地域の掲示板、チラシのポスティング）	・センターやセンターの取り組みを事業を知ってもらうきっかけづくり	①集まる/③遊ぶ・愉しむ/④（愉しみを）ひろめる	☆	
他団体と連携	高齢者用カートの試乗会	・移動手段の検証をしたい	①集まる	☆☆☆☆☆☆	
	薬科大とのコラボ（薬科大ツアー、東薬祭との連携）	・学生と連携したり、学生のニーズを聞きたい ・学生へお願いするだけではなく、自ら動いて連携を模索したい	⑥そのほか	☆☆☆☆☆☆	☆☆☆

各グループの発表から

ぞれぞれのグループから共通した意見として、「食」を軸にして 5 つの方針を検討するアイデアが出ていました。また、センター利用団体や近隣の東京薬科大学と連携するといった広域的な展開を想定した取り組みアイデアも特徴的です。日程候補日がちょうど焚き火会や東薬祭（東京薬科大学の学園祭）と重なる可能性が高いため、連動した取り組みにしても良いかもしれません。



studio-L
洪さん